

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	双海林業センター管理事業			
予算科目	6 款 2 項 1 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 林業の振興			
所管課情報	担当課:	農林水産課	電話番号(内線):	579
記入者情報	所属長:	亀岡 泰三	担当責任者:	福積 和富
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	林業関係者及び近隣住民			
根拠法令等	伊予市林業センター条例			
事業の目的	林業関係者の連帯感の醸成と技術向上及び福祉の増進を図る。			
事業の内容	施設の維持管理			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	施設管理について、指定管理にするのか譲渡するのか検討する。			
改善策の 具体的 取り組み	具体的な協議がもてていない状況である。指定管理にしても譲渡にしても協議が必要			

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	324	450	178	392
	人件費	81	79	39	79
	合計	0	529	217	471
人件費 内訳	人工数	0.01	0.01	0.01	0.01
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	81	79	39	79
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	405	529	217	471

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
センター利用件数	件	3	3	0	3

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	1,300	1,300	1,300	1,300	0	5,200

成果指標				
成果指標	施設利用件数			
指標設定の考え方	林業関係事業の充実度により、勉強会及び会合の回数の頻度が影響する。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標26年度
目標	10	10	10	0
実績	3	3	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	施設管理について、伊予森林組合による指定管理協議を継続			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	当センターは、地域の中心部から離れた場所にあり利用率は低い。施設管理については、森林組合がセンターの一部を使用している関係から、森林組合へ指定管理できないか引き続き検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	